

略 歴 書
(公表用)

(ふりがな) 氏 名	あべしんいちろう 阿部信一郎
学歴・取得学位	早稲田大学法学研究科博士課程前期修了（平成元年） カリフォルニア大学ロサンゼルス校ロースクール卒業(LL.M 平成13年)
職歴	平成6年ときわ総合法律事務所（現・西村あさひ法律事務所）入所 平成19年～平成27年 ベーカー&マッケンジー法律事務所パートナー弁護士 平成21年～平成28年 中央大学法科大学院特任教授 平成28年 霞ヶ関国際法律事務所開設 平成29年～現在 中央大学法科大学院客員教授（事業再生法） 平成30年～現在 国士舘大学大学院客員教授（会社法）
業績	(著書、論文、判例評釈・翻訳等) 日本語著作 ・ 「コモンロー圏（英国・BVIと香港）における判例の分化ー仲裁と倒産」 JCA ジャーナル 73 巻 1 号 3 頁、2026 年 1 月 ・ 「迅速な事業再生手法ー事業再生 ADR と民事再生との融合事例」 中央ジャーナル 20 巻第 4 号 19 頁、2024 年 3 月 ・ 「倒産事件において ADR を活用する方策」 JCA ジャーナル 71 巻 1 号 5 頁（2024 年 1 月） ・ 「アメリカにおける最近の倒産事情（前編）（後編）」 事業再生と債権管理 182 号 118 頁及び同 183 号 134 頁 2023 年 10 月（2024 年 1 月） ・ 単著「わかりやすい事業再生手続」一般社団法人金融財政事情研究会（2023 年 10 月） ・ 「グループ企業の倒産手続における会計・税務の役割と課題」 事業再生と債権管理 180 号 108 頁（2023 年 4 月） ・ 「東京オリンピックにおけるスポーツ仲裁を経験して」 日本仲裁人協会会報 Vol.18（2022 年 3 月） ・ 「日本の倒産事件における仲裁手続の関与と進展(1)乃至(4)」 JCA ジャーナル Vol.68 No.10 乃至 Vol.69 No.1 日本商事仲裁協会（2021 年 10 月乃至 2022 年 1 月）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Taggart v. Lorenzen, 139 S. Ct.1795 (2019) —破産免責決定違反に対する民事罰としての制裁の基準を、米国最高裁裁判所として初めて定立した事例」判例評釈 アメリカ法 2020-2号 373頁 日米法学会 (2021年7月) ・ 「上場企業・中堅企業における事業再生アプローチ」事業再生と債権管理 No.169 (2020年7月) ・ 「事業再生 ADR の軌跡から見た汎用性—10年の分析をもとに—」事業再生と債権管理 No.164 金融財政事情研究会(2019年4月) ・ 「事業再生 ADR の軌跡から見た汎用性—10年の分析を元に」 NBLNo.1140 商事法務 (2019年2月) ・ 「事業再生 ADR の更なる発展のために」 NBLNo.1140 商事法務 (2019年2月) ・ 「Listing Regulations in Japan 日本における上場規制について」日本とマレーシアでの中国企業への投融資法律研究 中国金融出版社 (2018年3月) ・ 「生命保険会社の破産」 Risk Management of East Asian Financial Institution(Law Press・China) (2018年1月) ・ 「最新改正会社法」共著 八千代出版 (2016年5月) ・ 阿部信一郎他編著「企業法務の実務Q & A」三協法規出版 (2015年9月) ・ 「企業文化の変容—残されるものと削ぎ落とされるもの」中央大学オンライン(2015年9月) ・ 「適用除外等」論点体系会社法補完 第一法規 (2015年) ・ 「企業再建における債権者の立場からの対応」清水直編著『企業再建の究極にあるもの』商事法務 (2015年2月) ・ 編著『わかりやすいアメリカ連邦倒産法』商事法務 (2014年5月) ・ 「COMI の認定の近時の傾向について(下)」国際商事法務 Vol.42 No.2 国際商事法研究所 (2014年2月) ・ 「COMI の認定の近時の傾向について(中)」国際商事法務 Vol.42 No.1 国際商事法研究所 (2014年1月) ・ 「COMI の認定の近時の傾向について」国際商事法務 Vol.41 No.12 国際商事法研究所(2013年12月) ・ 「事業再生リーガルクリニックの現状について」中央ロー・ジャーナル第9巻第4号中央大学法科大学院 (2013
--	---

	<p>年 3 月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「総会検査役の任務と実務対応」旬刊 商事法務 8/5-15 合併号 No.1973 商事法務(2012 年 8 月) ・ 「清算」論点体系会社法 4 巻及び補巻 第一法規(2015 年) ・ 「日本での再生型 M&A の特徴と現状について」中央ロー・ジャーナル第 8 巻第 4 号 中央大学法科大学院 (2012 年 3 月) ・ 「原子力損害賠償支援機構法の解説と被災企業の支援」ビジネス法務 中央経済社(2011 年 11 月) ・ 「震災と労働問題—整理解雇と会社の倒産時を中心に」NBL No.954 商事法務 (2011 年 6 月) ・ 「経営破綻時における労働者の処遇 東日本大震災による雇用悪化を含めた対策」ザ・ローヤーズ アイ・エル・エス出版 (2011 年 5 月) ・ 「多様な利害を守るスキームを」日経ビジネス 日経 BP 社 (2011 年 4 月 19 日号) ・ 「債権者を守る担保設定契約の効果的手法」ビジネス法務 中央経済社 (2011 年 3 月、4 月) ・ 『合併・買収の統合実務ハンドブック』中央経済社 (2010 年 6 月) ・ 編著『Q & A 取引先の倒産対応マニュアル』日本経済新聞出版社 (2010 年 1 月) ・ 「行政調査、犯則調査および立入検査等に対する対応」狛文夫編著『カルテルとリニエンシーの法律実務 被疑会社の視点から見たカルテル規制とリニエンシー制度の利用』135 頁以下 商事法務 (2008 年 3 月) ・ 「商業施設 総論」「コムシティ」「大阪三セク 3 社」事業再生実務家協会 公企業体再生委員会編『地域力の再生 三セク・地域交通・自治体病院の再生モデル』32 頁以下、69 頁以下 きんざい (2007 年 12 月) ・ 「各国の事業再生関連手続について——英仏米の比較分析(下)」中央ロー・ジャーナル第 3 巻第 4 号 73 頁以下 中央大学出版部 (2007 年 3 月) ・ 「各国の事業再生関連手続について——英仏米の比較分析(上)」中央ロー・ジャーナル第 3 巻第 3 号 129 頁以下 中央大学出版部 (2006 年 12 月) ・ 「欧米における事業再生の法律と実務[下]」社団法人国際商事法研究所編 国際商事法務 Vol.34, No.10 (2006)1285 頁以下 (2006 年 10 月)
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「欧米における事業再生の法律と実務[上]」 社団法人国際商事法研究所編 国際商事法務 Vol.34, No.9 (2006)1115 頁 (2006年9月) ・ 「外国との関係」 松嶋英機編著『企業倒産・事業再生の上手な対処法』 民事法研究会 (2006年2月) ・ 「米国と英国におけるプレパッケージ型手続」 事業再生研究機構編『プレパッケージ型事業再生』 33 頁 (2004年3月) ・ 「清算事案における薬局の事業継続と M&A」 商事法務編『再生・再編事例集1』 314 頁以下 (2004年1月) ・ 「ターンアラウンドスペシャリスト」 N B L 758 号 43 頁以下、759 号及び 760 号(掲載予定) 商事法務 (2003年4月及び5月) ・ 「米国におけるプレパッケージ型再建手続について」 国際商事法務 Vol.31, No3,305 頁以下 国際商事法研究所 (2003年3月) ・ 「外国との関係」 松嶋英機編著『民事再生法入門』 187 頁 商事法務研究会 (2000年4月) ・ 「簡易再生および同意再生手続」 松嶋英機編著『民事再生法入門』 193 頁 商事法務研究会 (2000年4月) ・ 「弁済禁止の保全処分」 高木新二郎ほか編『倒産法実務事典』 33 頁 きんざい (1999年4月) ・ 「代理委員」 高木新二郎ほか編『倒産法実務事典』 1030 頁 きんざい (1999年4月) ・ 「会社更生における株主の地位」 高木新二郎ほか編『倒産法実務事典』 1031 頁 きんざい (1999年4月) ・ 「破産原因」 高木新二郎編『破産・和議の基礎知識』 42 頁 青林書院 (1996年12月) <p>英文論文等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ "When Arbitration and Insolvency Intersect: Developments from Common Law Jurisdictions and Key Takeaways for Japan" Japan Commercial Arbitration Journal VOL.6 (JCAA, September 2025) ・ "The Development of Sports Arbitration in Japan and Challenges for the Future" Japan Commercial Arbitration Journal VOL.5 (JCAA, September 2024) ・ “Section 363 Bankruptcy Sale Checklist for Cross-Border Transactions” American Bar Association 9 Jan.2024 (https://businesslawtoday.org/tool/japan-section-363-bankruptcy-sale-checklist-for-cross-border-transactions/)
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> • “International Arbitration in Japanese Bankruptcy Cases” Japan Commercial Arbitration Journal VOL.2 (JCAA, September 2021) • “Japan’s Insolvency Regime Under Covid-19” Asia-Pacific Restructuring Review 2021, GRR (Law Business Research Ltd, September 2020) • “Japan” Cross-Border Insolvency (Globe Law and Business,2016) • “Japan” Multi-Jurisdictional Guide 2012/13 Restructuring and Insolvency (Practical Law Company, 2012) • “Chapter13 Japan” The Restructuring Review - Fifth Edition (Law Business Research, September 2012) • “Japan Chapter” Cross-border Handbooks Restructuring and Insolvency 2011/12 (Practical Law Company, 2011) • “Country Q&A Japan” Restructuring and Insolvency - The Law and Leading Lawyers Worldwide (A Practical Law Company Publication, November 2010) • “Chapter17 Japan” The Restructuring Review - Third Edition (Law Business Research, August 2010) • “Financial and Tax Consideration for Distressed Companies and Their Creditors” Insol International (August 2010) • “Current Trends and Insolvency Cases in Japan” International Corporate Rescue Volume7 (June 2010) • “Japan” Cross-Border Insolvency (Globe Low and Business,2009) • “Chapter14 Japan” The Restructuring Review - Second Edition (Law Business Research, October 2009) • “Country Q&A Japan” Restructuring and Insolvency - The Law and Leading Lawyers Worldwide (A Practical Law Company Publication, October 2009) • “Chapter14 Japan” The Restructuring Review (Law Business Research, November 2008) • “Recent Trends in Japanese ADR for Restructuring Insolvent Business”, KLRI Journal of Law and Legislation Vol.9 Number2 2019, (KORIA LEGULATION RESEARCH INSTITUTE, November 2019) • “Interaction between Arbitral Tribunals Seated in Japan and Japanese Courts” International Business Law 【Second Edition】 , (Wolters Kluwer, September 2019) • “Recent developments in Japanese insolvency practice” International Insolvency & Restructuring Report, (Capital Markets Intelligence 2018/19, 2018年9月) • 「日本再生型 M&A の特征与現状」、The Art of Distressed M&A, (Law Press China,2017) • “The Role of Mediation in Japanese Insolvency Practice” Transnational Dispute Management 4, (2017) • “Requirements to become a listed company in Japan” Legal Research on Investment and Financing of Chinese Enterprises in Japan and Malaysia, (China Financial Publishing House, March 2018)
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> • “Preliminary report on the economic aftershocks of the Tohoku earthquake” Crisis in Japan the Economic Impact (Global Business Magazine March 2011) • “Employee Entitlements” Insol International (March 2005) • “The Revised Japanese Commercial Code” International Bar Association Committee “G2” (September 2003) • “Recent Developments in the Insolvency Laws of Japan” International Bar Association Committee “J”, (September 2003) • “Japanese Insolvency Laws relating to Cross-Border Cases” Insol, (September 2003) • “Economic Woes Prompt Reassessment of ‘Old World’ Practices” The Journal of Corporate Renewal, Vol.16, No.9, (September 2003) • “The Japanese Corporate Reorganization Reform Law of 2002” American Bankruptcy Institute Journal, Vol. XXII, No2, 36-38 (March 2003) • “Recent Development of Insolvency Laws and Cross-Border Practices in the United States and Japan” The American Bankruptcy Institute Law Review, Vol. 10, 47-84 (Spring 2002) • “The New Civil Rehabilitation Law in Japan” The American Bar Association, Section of Business Law, Committee on Business Bankruptcy, (October 2001) (Included in CD) • “The New Japanese Reorganization and Rehabilitation Law” The American Bar Association, Business Law Section, (Spring 2000) • <p>(所属等)</p> <p>国際仲裁総合研究所代表理事、東アジア倒産再建協会日本支部長、環太平洋国際法律家協会 (I P B A) 訴訟部副部長、倒産法部前部長、国際倒産協会 (International Insolvency Institute) 前理事、事業再生実務家協会理事、倒産実務家日本協会 (JFIP) 理事、事業再生研究機構会員、日米法学会会員、倒産実務家国際協会 (INSOL) 会員、米国法律家協会会員、民事訴訟法学会会員</p> <p>(実務実績 [取扱業務等])</p> <p>企業法務、国際法務、(国際) 倒産・事業再生一般、訴訟、ADR、国際仲裁等</p>
<p>プロフィール (URL)</p>	

※ ご所属の事務所等の個人紹介ページに上記事項が記載されている場合には、プロフィール欄に当該ページの URL をご記入頂き、「プロフィール参照」と記載して頂ければ結構です。